

SDGs通信

vol.14

2024年 2月 1日発行



SDGsと防災の関係とは？

今年は今和6年能登半島地震が1月1日に発生してしまったので、防災の関心も高いと思いますのでSDGsと関連する内容を紹介します。

11 住み続けられるまちづくりを



SDGsの目標11は「住み続けられるまちづくりを」と定められています。

災害の多い日本では、防災対策によって災害の被害を減らすことが重要です。過去に発生した災害の教訓を活かして、災害が起きても済み続けられるようインフラ整備や避難場所確保を進めるなど、地域一丸となった対策が求められます。

13 気候変動に具体的な対策を



SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」は、防災と深い関係にあります。豪雨や洪水、土砂災害といった自然災害の発生に、気候変動が大きく影響を及ぼしているからです。

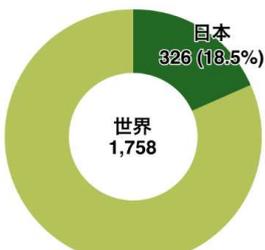
地球規模で起きている気候変動に対応するため、国全体だけでなく世界が協力して取り組んでいくことが重要です。

世界の災害と比較する日本の災害

日本は災害大国であるといいますが、国土面積で言うと世界全体でわずか0.25%しかない日本が、どれほど災害とSDGs・持続可能な発展とを切り離すことができないかということを内閣府の「平成26年度防災白書」から見てみましょう。

- ①マグニチュード6.0以上の地震の18.5%が日本で発生している
- ②世界の活火山の7.1%が日本にある
- ③世界の災害における死者数の1.5%が日本
- ④災害における被害額の17.5%が日本

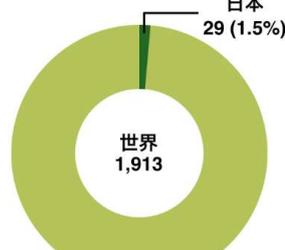
マグニチュード 6.0 以上の地震回数



活火山数



災害死者数 (千人)



災害被害額 (億ドル)



このように世界の災害の数値を見てみると、日本という国が世界の中でも地震、活火山が多くて、被害額も非常に大きいという事がわかりますね。

個人で出来る防災対策をしてみたいはいかがでしょうか？

『もしも・・・の時に備えて』

もし皆さんが災害に遭遇した時に困らないように備蓄しておく安心グッズを紹介します。

①防災グッズ ベスト10



②避難時に必要な防災グッズ



その他、今ではモバイルバッテリーなども必需品となってきました。備えあれば患いなし！です。



今月のこの人
営業部
水野 隆行さん

私はこれまで、SDGsに対する意識が皆無でした。今回、SDGsについてコメントするにあたり、自分の日常生活を振り返りました。コーヒー・水・弁当・つまみ等々を毎日のように買ってます。そして何故か、いつもレジ袋を買ってます。手持ちで済む物やカバンに入れば済む物でもです。レジ袋についてはこんな記事もあります。『日本では2020年7月1日からレジ袋が有料化され、大手コンビニのレジ袋辞退率は、有料化前のおよそ3倍にまで増加しました。しかし一方で、レジ袋と同じようなポリ袋の売り上げも2倍以上に増えているという調査結果もあります。プラスチックごみによる海洋汚染は、これまでにないほど深刻な状況です。レジ袋だけでなく、便利で安価なプラスチック製品との付き合い方について、改めて考えていかなければなりません。』これを機会に意識を変え、買い物の際には極力レジ袋を買わない(マイバック持参はちょっと抵抗があるので...)ように心がけ、微力ながら出来るだけ「ゴミとなるもの」をもらわないようにします！
*次回はこの人 岡 まりなさん

～編集後記～ 皆様からの情報、アイデアお待ちしております！

今、社をあげて取り組んでいるSDGsですが、『こんな取組できないかな？』とか『〇〇の情報をグループ全体で共有して欲しい』などのご意見がありましたら、お近くのメンバーまでお待ちしております。